



HONDA CIVIC 5door 2.2 i-CTDi SPORT(UK version)

第4回

ホンダ・シビック5ドア 2.2i-CTDiスポーツ(イギリス仕様)

ついにフロアマットを装着!!

防音効果と断熱効果の高い「QUEST(クエスト)」をセレクト

写真/宮越孝政

問い合わせ/株式会社カロ ☎03-3372-6340 www.karo1980.jp

フロアマットを機能部品と考えているカロだけに、見た目だけでなく運転時の操作性までも研究した開発を行なっているという



特注で滑り止めのフットプレートを幅広仕様(左)にしてもらった。もちろん、設置位置の変更や設置の有無も可能だ



型紙に対して寸分たがわずに製作された欧州シビック用「クエスト」。フロア形状を正確に採寸しているのでも、まさに「ジャストフィット」。オーダーメイドを考えている人は、型取りは念には念を入れて臨んでほしい



既存のラインナップにない欧州シビック用のマットをフルオーダーメイドで製作してもらうために、型取りを行なったのが、前回までの話。

その時、カロの担当者に「約1週間型紙ができますので、それまでにどのタイプにするか連絡してください」と言われていました。担当者だし独断で決めてしまおうかな…とも思いましたが、参考までに編集部スタッフがどれがいいかを聞いたのが大きな間違いでした。まともがありそうでない(!?)我がスタッフは誰として同じ仕様を選ばない…。これでは多数決にすることもできず、マットセレクトを

さらに混乱させただけだったのです。そこで、担当者はいくつかの条件でフルイにかけることにしました。

①撮影車としても使う

ザッカーだけでなく、すでにいくつかの自動車媒体にも出演している欧州シビック君。となると、マットだけが派手すぎるのはNG。さりげなく主張してくれるタイプがベストです

②インテリアにマッチしたもの

エクステリアに負けない特徴的なインテリアにマッチさせるには、純正O

Pのマットのような地味な物では、なんだかつまらない気がします。

③少しでも静かになるもの

以前、STIのS203/204で、標準車よりも厚いカーペットに変更したことで静粛性を上げたという話を聞いたことがあったので、マットの力でロードノイズをさらに減らしてくれるのであれば…。

この条件に最も合ったのは、カタログのキャッチコピーに「静寂と断熱、抜群の重厚感」とある、カロシリーズの最高グレードである「クエスト」で

した。その旨をカロに連絡し約2週間後、編集部に大きなダンボールが届きました。

さっそく装着してみると、オーダーメイドなので当たり前ですがジャストフィットです!! フロントはもちろん、前回の型取りでも苦労したという出っ張りや段差の多いリアもバッチリです。欧州シビックの純正マットを見たことはいませんが、たぶん純正品よりピシッとしているんじゃないかと思っています。カロのマットにはオリジナルのマットストッパーが付属されていますが、これを装着しなくてもズレないくらいシッカリとしているのです。当たり前のようですが、純正マットでもこれほどの仕上りのものはそう多くはありません。

期待の静粛性は、ストップアンドゴーの市街地では大きく変化するまではいきませんでした。高速巡航時などでは、音量よりも音質(高周波音)が変化したのか、ロードノイズが耳につきにくくなったように感じました。もちろん、車両によってこのような違いがあるかはわかりませんが、ちょっと驚きです。

そういえば、最新のカロのカタログを見ていたら、ホンダのページに「シビック・タイプR 左ハンドルドイツ仕様車用」という品番がありました。これって…以前ザッカーでオーダーした物? ということは、欧州シビック5ドア用も近々カタログモデルとしてラインナップに入ることでしょうか? シビック5ドアが日本に導入されたら、オーダーメイドせずにすぐ買えますからね!!

(山本)